

2016年熊本・大分地震 災害調査団 報告会

～熊本の大地・新たな伝承の始まり～



平成 28 年 4 月に発生した熊本地震から 1 年が経過しました。

日本応用地質学会・九州応用地質学会では、地震直後から地震被害調査に取り組んできました。今回の報告会は、その結果をお伝えします。熊本の皆さまに大地の成り立ちを知っていただいた上で、熊本地震被害の地学的な正しい理解を深めてもらい、今後の復旧と持続可能な故郷づくり、さらには効果的な地震防災対策の立案に貢献できればと思います。

今回の報告会は、一般の方を主な対象とし、復興に向けた震災関連の業務・工事等に携わる方々も含め、「わかりやすい」報告会にしたいと考えております。

一般の方からの質問相談会も予定しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



日 時：平成 29 年 4 月 29 日（土） [開場]13:30 [開会]14:00-16:30

場 所：くまもと県民交流会館 10F パレアホール

（熊本市中央区手取本町 8-9 テトリア熊本ビル）

定 員：300名 CPD：2.0 ポイント

参加費：無 料

事前申し込み：必要（平成 29 年 4 月 21 日締切）



申し込みは日本応用地質学会事務局（Fax: 03-3259-8233、E-mail: office@jseg.or.jp）またはジオ・スクーリングネット（<https://www.geo-schooling.jp/>）まで、メールか Fax でお申し込みください。（プログラム、申し込み用紙は裏面をごらん下さい）

主 催：一般社団法人日本応用地質学会・九州応用地質学会

後 援：熊本県、公益社団法人地盤工学会

2016 熊本・大分地震災害調査団 報告会 ～熊本の大地・新たな伝承の始まり～

開場・受付 13:30 - 14:00 (リーフレット、アンケート用紙、質問票を配布)

開会案内 14:00 - 14:05
開会挨拶 14:05 - 14:10
総合司会 大石 博之 (西日本技術開発)
黒木 貴一 (福岡教育大学)

第一部 講演 14:10 - 15:30

1. 熊本地震を取り巻く地体環境 (20分) 花村 修 (九州地質コンサルタント)
2. 地震の歴史と伝承 (20分) 坂本 省吾 (中央土木コンサルタント)
3. 熊本地震で何が起きたのか (40分)
 - 3.1. 地震断層について 矢野 健二 (ジ・テック技術士事務所)
 - 3.2. 斜面災害について 山本 茂雄 (中央開発)

休憩 15:30 - 15:45 (質問票の回収、質問アラカルトの準備)

第二部 未来への展望 ～質問アラカルト～

質問票を基に進行、地域地質の成り立ち、宅地被害、今後の災害防止
15:45 - 16:25 司会 宮崎 精介 (九州地質コンサルタント)

閉会挨拶 16:25 - 16:30 日本応用地質学会会長 脇坂 安彦

2016 熊本・大分地震災害調査団 報告会 参加申込書

申込先 (問い合わせ先も同じ) (一社) 日本応用地質学会事務局
FAX : 03-3259-8233 E-mail: office@jseg.or.jp

日時 : 平成 29 年 4 月 29 日 (土) 開場 13:30 報告会 14:00 - 16:30

会場 : くまもと県民交流会館 10F パレアホール (熊本市中央区手取本町 8-9)

■企業名/団体名	
■TEL	■E-mail (代表者)
■参加者氏名	■参加者氏名
■参加者氏名	■参加者氏名

* 上記個人情報は、当報告会事務局内での事務処理、参加者への返信・連絡に限り利用いたします。

* E-mail で申し込まれる場合は、メールタイトルを「熊本・大分地震災害調査団報告会参加申込」とした上で、上記事項を本文に記入し、送信してください。

申し込み締切は 4 月 21 日 (金) ですが、定員に達し次第、締め切らせていただきますので、お早めに申し込み下さい。